

WEST END JOURNAL

ウエスト・エンド・ジャーナル (WEJ) 第46巻第5号 (通巻511号)

日本シャーロック・ホームズ・クラブ関西支部 2020年5月4日

CONTENTS

追分フォーラム残念号

広告 (『ルイス・キャロルの実像』、『偽書が揺がせた日本史』、250 回記念仏滅会)	1 (5437)
追分フォーラム7月まで延期 (豊島秀雄)	2 (5438)
ホームズがコロナウィルス対策を指導 (花屋敷ひばり)	2 (5438)
仏滅会 250 回特集(その6)	曾根 晴明 3 (5439)
ホームズ物語と言語学的话题 (引喩を中心に) (1)	長谷川明子 6 (5442)
名探偵登場 (第3回)	吉本 研作 8 (5444)
ホームズ原理主義と発展主義 (30)	平賀 三郎 10 (5446)
250 回記念品は特製ホームズ切手	眞下 庄作 12 (5448)
ALITTLE AGONY COLUMN	12 (5448)
編集後記	12 (5448)

『ルイス・キャロルの実像』

『不思議の国のアリス』の著者ルイス・キャロルはどのような人物か正しく伝わっていなかった。ゴシップや噂に惑わされず、日記や手紙、回顧録などの一次資料を精査し、作家だけではなく数学者、写真家、実業家など多彩な真の姿を追及した伝記を超えた伝記。著者のエドワード・ウェイクハングはキャロル研究の第一人者、英国ルイス・キャロル協会の元会長。監訳者3名、訳者2名の共訳。解説は中島俊郎さん。
A5版、529p 6000円

小鳥遊書房

『偽書が揺がせた日本史』

超古代史研究家の著者原田実氏が新しく書き下した書。何故偽書は横行し続けるのか、古代以来の偽書の足跡をたどり、陰謀論との危険な関係を指摘し歴史資料との関係を解き明かそうとする。某教団の教義は偽書の寄せ集めであったと指摘し、最近の米国では国民の政治批判に事実の確認よりも感情や偏見が優先される傾向も指摘する。フェイクニュースは現代の偽書そのものではないだろうかと、警鐘を鳴らしている。

関西支部

第250回記念仏滅会

仏滅会も250回を迎えました。祝賀を兼ねて記念仏滅会を開催します。ぜひご参加下さい。
日時 令和2年6月6日13時～
場所 大阪駅前第二ビル6階大阪市総合学習センター第2研修室
内容 報告実行委員長眞下庄作
発表 中島俊郎、新井清司
鬼丸武士・古書放出
祝賀会 終了後丸ビルのレストランで250回祝賀会を開きます。

※ご注意 新型コロナウイルスの蔓延によっては延期または中止することがあり、関西支部HPで連絡します。

関西支部